

令和6年度研究成果発表会を開催しました

7月17日に当センター大会議室にて令和6年度研究成果発表会を開催し、県内企業の方々をはじめ各方面の方にご参加いただきました。今年度は会場への来場とWeb会議システムによるオンライン参加から選択いただき、会場49名、オンライン73名の計122名の参加がありました。

今年度の研究成果発表会では、県内企業との共同研究成果や令和5年度までに終了した研究の成果など、口頭6テーマ、ポスター9テーマの発表を行いました。



参加者からは、研究の実験内容や研究に基づいてつくられた試作品等に関心が寄せられ、活発な質問や意見交換が行われました。

なお、口頭発表テーマ、ポスター発表テーマの概要をまとめた予稿集については、当センターのホームページ(トップメニュー→ライブラリー&リソース→定期刊行物→研究成果発表会 予稿集)に掲載してありますので、ご覧ください。

工業技術センターホームページURL

<https://www.kagoshima-it.jp/>



大谷武人主任研究員が博士(工学)の学位を取得

食品・化学部の大谷武人主任研究員が、令和6年3月25日に鹿児島大学の博士課程を修了し、博士(工学)の学位を取得しました。

学位論文のテーマは「製糖地で用いるための廃糖蜜中有価成分の回収と資源化法に関する研究」で、製糖地域における製糖副産物である廃糖蜜から有価成分を回収および資源化する方法に関する研究をまとめたものです。本研究では、廃糖蜜の主成分であるショ糖とカリウムに着目して離島で用いるための簡便な技術について工学的に取り組みました。

具体的には、①廃糖蜜に加水に続く試薬添加により肥料であるシングナイトとしてカリウムを70%以上回収する二段階沈殿法、および②廃糖蜜に残存するショ糖の40%を微細な結晶として製糖工程内に還元する方法を学術的に解明しました。さらに③製糖工場における研究成果の実装を目的として検証を行った結果、ショ糖回収に続いてカリウム回

収の二段階沈殿法を実施することでショ糖の純度および回収率を高めることを示しました。本成果を県内関連企業へ普及していきます。

